OME 市議会だより

No.277
令和8（2026）年
11月15日

令和８年青梅市議会定例会
９月定例議会



令和7年度 決算を認定！

今号の表紙は**「中学生未来会議」**です。
8月21日に、青梅青年会議所主催の「中学生未来会議」が青梅市議会議場において開催されました。青梅市と奥多摩町の6校16名の中学生が参加し、市長、町長、議員らを前に、地域の課題の具体的な解決策や将来のまちづくりについて提言を行いました。








◆今号の概要◆

令和8年9月定例議会は9月2日から29日までの28日間の期間で開催され、議案審議後、一般質問が行われました。上程された議案は、市長提出議案が条例6件、補正予算4件、決算7件、契約3件、財産3件、人事1件、その他10件の全34件、委員会提出議案1件、議員提出議案1件で、いずれも原案どおり可決、認定または同意されました。また、陳情3件が審議され、2件が不採択、1件が趣旨採択となりました。

◆会議の開催状況◆

8月 26日　議会運営委員会
【9月定例議会・・・期間9月2日から9月29日（28日間）】
9月　 2日　議会運営委員会、本会議（議案審議、一般質問）
9月　 3日　本会議（一般質問）
9月　 4日　本会議（一般質問）
9月　 7日　総務企画委員会、環境建設委員会、福祉文教委員会
9月 10日　予算決算委員会、全員協議会、
　　文化複合施設整備特別委員会
9月 11日　議会運営委員会、本会議（委員会議案審査報告）
9月 14日　予算決算委員会
9月 15日　予算決算委員会
9月 17日　予算決算委員会
9月 29日　議会運営委員会、本会議（委員会議案審査報告等）

主な内容　◆予算決算委員会での主な質疑‥２面　◆令和７年度の主な施策・一般会計決算討論要旨‥３面　◆一般質問‥４～７面
◆議員提出議案（付帯決議）‥７面　◆議案・陳情の議決結果‥８面　◆１２月定例議会の会議予定‥８面

令和7年度一般会計 決算をCheckしました！

決算の概要は、こちらをご確認ください。

CHECK 議案は、議長を除く全議員で構成される予算決算委員会に付託され、9月14日、15日、17日の3日間にわたって審査を行いました。

予算決算委員会での主な質疑

【総務費】…庁舎の維持管理、税務、戸籍、選挙、統計などに関する経費

防犯機器等の購入世帯に対する補助

Q. 助成件数について、カメラ付インターホンが815件と防犯カメラを上回る設置数であるが、どのように捉えているか。

A. 来訪者を映像で確認、録画できるため、いわゆる闇バイトによる強盗事件を受け、見知らぬ訪問者への不安に対応できる機器として需要が多かったものと捉えている。

Q. 補助金を交付した1,465世帯の防犯力が向上したと言えると思うが、事業の評価を伺う。

A. 昨今の治安に対する不安や防犯意識の高まりを踏まえて、自宅の防犯対策を推進するため今回の補助事業を実施したが、当初予定していた件数より多くの申請を頂いたことから、市民ニーズの高い事業であったと評価している。

市民センター体育館の空調設備工事

Q. 空調設備を最初に東青梅と河辺の市民センター体育館に設置した理由を伺う。

A. 地域性を勘案した上で、市民センターと出張所に分け、災害時の避難所や選挙の投票所、体育館の稼働率などを総合的に勘案し整備の優先順位を決めたものである。

Q. 全ての市民センター体育館に設置する予定であるか。また、その計画について伺う。

A. 優先順位に基づき、全ての市民センターに設置したいと考えている。令和８年度は、大門、小曾木、新町に設置し、令和９年度以降は、現時点では未定である。

【民生費】…社会福祉や高齢者福祉、児童福祉などに関する経費

長寿ふれあい食堂

Q. 長寿ふれあい食堂についての課題や行政効果について伺う。

A. 課題としては、食堂の数がまだ少ないことである。効果としては、高齢者の方が集い、話をすること等で、孤立の防止や、心身の向上が図れると考えている。

副食費補助

Q. 保育園や幼稚園等に通う児童に対する、実際の1人当たりの補助額を伺う。

A. 令和7年度については、1人当たり月額4,900円となっている。

Q. 保護者負担は生じなかったのか伺う。

A. 保育所については、4,900円の範囲内でお願いしている。幼稚園では、園によって提供されるものが違い、副食費が異なるところもある。一部幼稚園については、4,900円を超えている部分が若干発生していると聞いており、保護者の自己負担が発生していると捉えている。
※幼稚園に通う園児の副食費補助は教育費。

【衛生費】…健康診査などの保健衛生、環境保全、清掃に関する経費

喫煙スポット、パーテーション設置

Q. 喫煙スポット、パーテーション設置工事は、河辺駅北口と東青梅駅南口が関連しての工事であると思うが、具体的な工事内容を伺う。

A. 河辺駅北口については、これまでパーテーション型の喫煙所を設置していたが、密閉型の喫煙スポットを設置した。その河辺駅北口で使用していたパーテーションを東青梅駅の南口に移設したものである。

Q. 以前は煙の問題など、いろいろ市民から意見があったと思うが、設置後にはどのような声があったか。

A. 河辺駅北口、東青梅駅南口ともに、苦情はほぼなくなった。

釜の淵公園ごみ種類組成分析業務委託

Q. 委託の内容を伺う。

A. 釜の淵で行ったごみの実態調査で集めた多摩川のバーベキューごみの内容を調査したものである。

Q. 分析した結果を基に市はどのようにしていくつもりであるか伺う。

A. 引き続き、釜の淵エリアの活用を含めて、河川ごみ対策について検討を重ねていく。

【農林水産業費】…農林水産業の振興や農林業施設の維持管理、農業委員会の運営などに関する経費

森林境界保全図素図の作成

Q. リモートセンシング技術を用いた森林境界保全図素図作成業務委託について内容を伺う。

A. 法務局の公図、森林簿のデータ、過去の航空写真、林地台帳地図データなど16種類のデータを活用し、リモートセンシング技術により、境界線を割り出し、図面化したものである。
※リモートセンシング技術とは、衛星などを使って、遠くから地表や環境を観測する技術。直接現地に行かなくても、植生、地形などの情報を効率的に収集できる。

Q. データの活用や今後の取り組みについて伺う。

A. 令和７年度は、森林境界保全図素図を作成し、今年度は、杉、ヒノキ等の樹種や樹高、林齢、これらの数量など、木材資源量の調査を進めている。これらの基礎データを活用し、森林の集約化を進め、森林経営管理制度を促進していく。

【商工費】…商工業振興、企業誘致促進、観光振興などに関する経費

物価高騰対策キャッシュレス決済ポイント還元事業

Q. キャッシュレス決済を1者だけ利用すると3000ポイント、4者全て利用すると1万2000ポイント還元となるが、この不公平感についてどう評価されているか。

A. 以前はPayPay 1者だったが、今回は複数のキャッシュレス決済で実施した。利用の選択肢が広がっており不公平とは捉えていない。

Q. 今回の還元額の総額が1億7000万円余となっているが、各キャッシュレス決済の利用割合を伺う。

A. 「PayPay」が約78パーセント、「d払い」が約9%、「楽天ペイ」が約8%、「auPAY」が約5パーセントとなっている。

Q. 利用者アンケート結果における、「今後実施してほしいキャンペーン」について伺う。

A. 「複数決済によるキャッシュレスキャンペーン」が64. 5%、「単独決済によるキャッシュレスキャンペーン」が11. 9%、「デジタル商品券」が5. 2%、「紙媒体の商品券」が4. 7%、「どれでも良い」が10. 5%、「分からない」が2. 9%、「参加しない」が0. 3%であった。

【土木費】…道路や公園などの整備や維持管理などに関する経費

わかぐさ公園遊具整備工事

Q. カラフルな複合遊具と円盤型のブランコを設置されたと思うが、遊具を決めるため、どのようなアンケートを行ったのか。また、障害者団体の要望は取り入れられているのか伺う。

A. 遊具案を見て選んでいただく形で、わかぐさ公園の利用者、近隣の保育園、幼稚園、小学校、障害者団体等に実施した。また、障害者団体等の意見も反映し設置した。

Q. 設置後の利用者からの反応は市に届いているか。

A. 円盤型ブランコは、順番待ちの列が出来ているなど、好評を得ていることを確認している。

【教育費】…学校教育や文化・スポーツ振興などの社会教育に関する経費

美術館施設改修工事

Q. 令和７年度は収蔵庫の改修と消防設備、防犯カメラの更新を実施したとのことだが、具体的な内容について伺う。

A. 収蔵庫については、扉のオーバーホールと内壁の貼り増しにより密閉性を上げている。消防設備については、令和６年度の消防点検の際に指摘を受けた火災報知機の交換および屋内消火栓設備として呼水槽等の修繕を行った。防犯カメラについては、古くなった防犯カメラを更新したほか、これまで設置していなかった収蔵庫内およびエレベーター内にも増設した。

【総括質疑】 令和７年度一般会計決算の総括

Q. 令和７年度の一般会計決算についてどう総括されるのか市長の考えを伺う。

A. 令和７年度予算については、３年目を迎えた第７次青梅市総合長期計画の着実な推進を図る中で、限られた財源と人材を有効に活用し、最大限の行政サービスを提供できるよう、各事業の妥当性や有効性を十分に検証した上で、賃金上昇や物価高騰をはじめとする社会経済情勢の変化にも適切に対応するため、必要な当初予算および補正予算を編成し、全力で取り組んできた。
子どもに関する施策、青梅駅前地区市街地再開発事業、各種公共施設の整備、モーターボート競走事業などさまざまな分野において多くの成果があったほか、その他の施策についても、ＤＸ推進や業務の効率化を進めながら、市民サービスのより一層の向上を目指し推進してきた。この決算を通じて適切に検証、総括し、成果や課題を次年度以降の施策に反映させることで、さらなる事業の改善と市民サービスの向上につなげていく。

POINT!! 第７次青梅市総合長期計画を踏まえ各分野の施策を実行！

令和７年度の 主な施策

【総務費】
◆マイナンバーカードを活用したタクシー運賃助成の実施　26,730千円
◆市民センター施設の整備　121,904千円
（東青梅・河辺市民センター体育館の空調整備等）

【民生費】
◆長寿ふれあい食堂に対する補助　2,020千円
◆認知症サポート検診の開始　227千円
◆妊婦のための支援給付金を支給　57,834千円

【衛生費】
◆河辺駅北口喫煙スポットの設置　20,460千円
◆健康センター改修工事（2か年工事1年目）　52,400千円
◆釜の淵公園ごみ実態調査の実施　5,566千円

【農林水産業費】
◆第四次青梅市農業振興計画の策定　3,707千円
◆森林経営管理制度事業の実施（森林境界保全図素図の作成）　9,240千円

【商工費】
◆物価高騰対策キャッシュレス決済ポイント還元事業　191,904千円

【土木費】
◆わかぐさ公園にインクルーシブ遊具を整備　37,387千円
◆青梅駅前地区市街地再開発事業に対する補助　1,338,363千円

【消防費】
◆避難所環境整備品（便袋）の購入　4,730千円

【教育費】
◆新学校給食センターの建設（3か年工事2年目）　337,028千円
◆美術館の改修（2か年工事2年目）　535,645千円
◆小・中学校の施設整備（外壁等改修、照明LED化等）　1,099,194千円

【民生費・教育費】
◆保育所・幼稚園等に通う全児童の副食費の無償化　86,605千円
◆私立の小中学校の児童生徒、公立学校で給食を食べられない児童生徒等に給食費相当額を支給　22,663千円

討論要旨

POINT!! 出席者全員賛成で認定

定例議会最終日に、予算決算委員会で審査した結果を委員長が報告し、各会派が討論を行いました。討論の主な内容を掲載します。（掲載は発言順）

①日本維新の会　認定

■移住・定住促進策…これまで継続してきたシティプロモーション施策を、青梅を知ってもらう取り組みから、実際に青梅を選んでもらう取り組みへと発展させている点を評価する。
■DX推進による行政事務の効率化…ローコードツールの推進、SMSの活用、生成AIチャットボットなどの導入も進められており、DXを具体的な業務改善につなげている点を評価する。
■収納率向上に向けた取り組み…既存の業務に新しい手法や工夫を積み重ねながら、安定した収納につながる仕組みづくりを進めた取り組みについて評価する。

移住・定住による人口減少の緩和、DXによる行政運営の効率化、収納の取り組みによる歳入確保、そして持続可能な財政運営は、いずれも自治体としての持続可能性を支える重要な取り組みであり、今回の決算は、その歩みが着実に進んでいることを示すものと受け止めている。
今後の財政運営や行政内部の管理体制の課題についても、真摯に取り組みながら、生まれた成果を一過性のものとせず、持続可能な自治体運営の実現に向けつなげていただくことを期待し賛成する。

②立憲民主党　認定

■学校屋上の防水工事や外壁の工事など、学校の校舎に関する事業が行われ大変よかったと思う。学校の防水は、子ども達の健康にも関係することなので大変重要な問題だと認識している。
■採石場周辺の大気中の粉じん調査が行われ、不十分な点もあるが、こういう調査を積極的に行うことは、住民の健康を守るために重要なことだと思う。

東京都による調査の結果、成木川と黒沢川からPFASが出ているが、今回の決算審査で環境部がこのことを把握していなかったことは遺憾に思う。また、河辺町の井戸から飲料水の基準値以上のPFASが出て、持ち主が不安に思っているそうだが解決の方向を考えなかったことは心外である。そのようなこともあるが、全体的に見て、財政も比較的安定し、青梅市が良い方向に進んでいると思い、賛成する。

③日本共産党青梅市議団　認定

■東青梅・河辺市民センターの体育館に空調が導入されたことは、日常利用の利便性向上に加え、災害時の避難所機能の強化という点でも重要であり評価する。
■高校生等医療費無償化の所得制限撤廃を東京都より早く実施したこと、および副食費が実質無償化されたことは、子育て支援の大きな前進である。
■キャッシュレス還元事業の検証として、利用者だけでなく非利用者にもアンケートを実施したこと、また、国の補正予算を受けて実施された商品券事業は、市民全員に紙の商品券を届けるという点では公平性が重視された点を評価する。

タクシー運賃助成事業が開始されたが、制度がマイナンバーカード限定である。また、グリーンスローモビリティを活用した定時定路線型交通は運行開始に至らなかった。職員採用では、技術職の確保と女性職員の割合向上が課題である。交通機関利用児童等通学費補助金が小規模特認校を対象外としていることは、改善を求める。課題を残した面も多くあるが、前進面を評価し、総合的な判断として賛成する。

④公明党　認定

■マイナンバーカードを活用した高齢者等タクシー運賃助成事業…高齢者など交通弱者の方の外出促進や円滑な移動を支援するもので、先進的で意義のある事業である。
■がん検診事業…胃がん、子宮頸がん、乳がん、肺がん、大腸がんの各種がん検診が実施されている。市民にとっては、少ない自己負担で検診を受けることができる貴重な機会であり、意義のある事業である。
■朝の見守り事業…令和7年11月から霞台小学校でスタートしたが、保護者からも好評と聞いている。「こどもがまんなかのまちづくり」を実現する施策の1つとして、今後さらに充実していくことを期待する。

市の財政運営は、中長期化する物価上昇や社会情勢の不透明さなどの影響により、引き続き難しい対応が求められるものと理解している。こうした状況においても、市民福祉の向上を図っていくことは、地方公共団体にとって大切な役割であると考える。堅実かつ持続可能な財政運営に努めていただくとともに、市民福祉のさらなる向上に向け施策の充実を期待し賛成する。

⑤自民クラブ　認定

■令和7年度の一般会計決算は、歳入、歳出とも過去最大規模となった。物価高騰、人件費の上昇、社会保障関係経費の増加など、自治体を取り巻く財政環境が厳しさを増す中で、これだけ大きな財政規模をもって、市民生活に直結するさまざまな施策を着実に実施してきたことは評価したい。
■新学校給食センターの整備、公共交通対策、防犯対策、子育て支援、防災・減災、DXの推進など、市民生活の基盤を支えるさまざまな事業が進められた。特に、新学校給食センターは、令和9年の給食提供開始に向けた準備が、着実に進められている。こうした将来にわたって市民生活を支える基盤整備については、さらにしっかりとした事業推進を求めるものである。

決算とは、単なる1年間の行政運営の通信簿ではない。過去の成果を検証し、次の一手を決めるための羅針盤である。「いくら使ったか」ではなく「何を残したか」、「何を実施したか」ではなく「市民の暮らしをどう変えたか」という視点をもって、これからの市政運営に取り組んでいただくことをお願いし賛成する。

⑥市民フォーラム青梅・都民ファーストの会　認定

■保育所や幼稚園等に通う全ての児童を対象として副食費の補助が実施された。市が定める補助上限額の範囲で、原則として自己負担が生じない仕組みとし、子育て家庭の負担軽減を図ったことを評価する。
■戦後80年記録映像の作成、上映会の開催を評価する。戦争から長い年月が経ち、知る人も少なくなってきているが、次世代へ継承するため、引き続き平和事業全般を含め、継続して取り組んでいただきたい。
■釜の淵公園のバーベキューのごみ問題に対し実態調査や分析を行ったことを評価する。現在も対策は進んでいるとは思うが、大幅な改善には至っていない。有料化の議論も含め、早急な対応を希望する。

令和7年度は子育て施策、移住定住、SNSを通じた情報発信など、着実に推進された年となった。一方、公共施設の再編や老朽化への対応、超高齢化社会への対応など課題も多く存在する。少子高齢化は着実に進んでおり、今まで以上に厳しい財政運営と持続可能な市政運営が求められる。今後もさまざまな施策を通じ、魅力ある暮らしやすい青梅市を目指し、実行していただくことを期待し、賛成する。





一般質問

９月定例議会では、２１名の議員が
一般質問を行いました。



インターネットの議会映像配信にて、
すべての内容を御視聴いただけます。

青梅市議会映像配信二次元コード

用語の解説

注１…群青紀行（４面・寺島議員）
OmeBlueの「青」をテーマに事業者に独自メニューの開発や提供を行っていただき、夏季期間に青梅を周遊していただくことを目的としたイベント。

注２…アピアランスケア（５面・長谷川議員）
がんやその治療による外見の変化に対して、患者が自分らしく安心して生活ができるように支援するケア。

注３…終活情報登録事業（５面・湖城議員）
高齢者などが緊急時や死亡時に必要な情報（緊急連絡先や医療、死後事務の希望）を事前に自治体に登録することで、本人の救急搬送時や死後に、指定された人や医療機関等からの照会に応じて自治体が情報を伝える仕組み。

注４…シビックプライド（５面・茂木議員）
まちに対する誇り、愛着および共感を持ち、まちのために自ら関わっていこうとする気持ち。

注５…MCI（７面・みねざき議員）
認知症と診断されてはいないものの、記憶力や注意力などの認知機能が低下し、もの忘れの頻度が多くなる状態。



目黒（めぐろ）　えり（市民フォーラム青梅・都民ファーストの会）

1　大規模災害発生後における迅速な情報把握と被災者支援について
2　中学校入学時における保護者負担の軽減について
3　子ども・若者の居場所づくりの進捗と今後について
　―小学校高学年の夏休みの居場所と児童館的機能の整備を―
4　行政手続における押印の見直しについて

■大規模災害発生後における迅速な情報把握と被災者支援について

問　青梅市では現在、大規模災害時の情報整理や行政事務に生成ＡＩを活用することについて、何らかの検討を行っているのか伺う。

答　現在、本市は、東京都市長会が開発を進める避難所運営や発災時の意思決定を支援する防災生成ＡＩについて、多摩２６市中５市が指名されたモデル自治体の一つとして、本市の防災情報の提供や、職員のヒアリングなど、システムの開発に協力をしている。



■子ども・若者の居場所づくりの進捗と今後について

問　こども家庭部と教育委員会が連携し、夏休み前に小学生が利用できる居場所や事業を一覧にし、学校を通じて児童に配付するなど、子どもと保護者の双方へ直接情報を届ける考えはないか伺う。

答　まずは、居場所や事業の一覧を作成していく。学校を通じた児童・保護者への配布については、関係部署で連携を図りながら対応していく。



島崎（しまざき）　実（みのる）（自民クラブ）

1　償却資産の課税・収納の実状と今後の課題等について
2　「多摩川１万人の清掃大会」の実施方法について
　―熊出没に伴い一部実施地区で中止としたことに関連して―

■償却資産の課税・収納の実状と今後の課題等について



問　データセンター建設による環境や住民への負担を示された上で、償却資産の増収確保への市長の決意を伺う。

答　現時点では、データセンターの立地により大きな環境負荷等が生じるものとは捉えていないが、今後も周辺環境や市民生活への影響について情報収集をしていく。データセンターをはじめ、新たな産業分野における企業立地の進展を通じた税収の増加が、将来にわたり安定した行政サービスを支える自主財源の新たな柱となるよう鋭意取り組んでいく。

■「多摩川１万人の清掃大会」の実施方法について

問　自然環境の変化に対応して多摩川１万人の清掃大会の実施方法を見直す必要があるが、これを踏まえ、市長の将来に向けての考えを伺う。

答　本大会は、多くの市民の方や団体、ボランティアの皆様などの御理解と御協力のもと開催できているものであり、多摩川の清流を守り、継承していくためにも大変意義ある取り組みである。長年引き継がれてきた「すばらしい多摩川をいつまでも守る」という思いを形にした活動として次世代につなぐため、どう実行できるかを問われていると考える。



寺島（てらじま）　和成（かずなり）（自民クラブ）

1　市職員の戦略的な能力向上と専門人材の育成について
2　Ome Blueブランドの強化で、「再訪」される観光都市を目指して
　―また来たいまち　青梅―

■市職員の戦略的な能力向上と専門人材の育成について

問　令和８年４月の人事異動について、その評価と効果について伺う。

答　組織と職員個人の双方に効果をもたらしているものと評価している。組織に与える効果としては、組織の活性化、不正等のリスクの回避、幅広い知識と経験を持つ職員の能力の発揮などが挙げられる。職員個人に与える効果としては、キャリア形成やモチベーションの向上、スキルの習得が挙げられる。

■Ome Blueブランドの強化で、「再訪」される観光都市を目指して

問　市の観光施策について伺う。

答　今年度は「群青紀行[注1]」でデジタルスタンプラリーを行ったり、「吹上花しょうぶまつり」において会場周辺店舗のクーポン券を配布したりするなど、周遊型観光の促進と観光消費額の増加に取り組んでいる。また、今後は、教育委員会および青梅市観光協会等と連携し、「Ome Blue」をコンセプトとした文化財等を活用したイベントの企画を検討している。

Ome Blue®



迫田（さこだ）　晃樹（こうき）（自民クラブ）

1　大規模蓄電施設の建設計画について
　―JC-STAR認証準拠の確認を―

■大規模蓄電施設の建設計画について

問　送電網に蓄電施設等をつなぐ場合、JC-STAR認証を取得した機器の使用が必須とされているが、市内における大規模蓄電施設の建設計画について、この規制に準拠するものであることを市は事前に確認すべきではないか。

答　JC-STARはIoT製品のセキュリティ適合性に対する国のラベリング制度であり、系統用蓄電施設のサイバーセキュリティを確保することは、電力の安定供給や施設の安全な運用を図る上で重要であると捉えている。国によると、特別高圧および高圧の太陽光発電設備や蓄電池について、令和９年４月以降に系統連系の契約申込みを行う場合には、対象となる通信機器にJC-STARの星１を取得した製品を使用することが要件となるとのことである。市としては今後、事業者による具体的な相談や、工事の案内看板等により問い合わせ先が明らかになった際には、JC-STARを含め事業に適用される制度への適合状況等について確認していく。



山田　敏夫（自民クラブ）

1　教育現場の諸問題について問う

■教育現場の諸問題について問う



問教育委員会が把握している過去５年間の体罰・暴力事案等の有無と認知件数、また、これらに該当しない不適切な指導として報告された事案の有無について伺う。

答令和３年度から７年度までの５年間に教職員による体罰等で服務事故として取り扱ったものは３件であり、不適切な指導として扱ったものはない。

問不祥事に対する現状認識や、予防・再発防止に向けての具体的な取り組みについて伺う。

答教職員による体罰や不適切な指導等は児童・生徒の人権を侵害し、心身に深刻な苦痛や恐怖心を与えるもので、決して許される行為ではない。不祥事を未然に防ぐため、研修等を通じて教職員が「体罰等に頼らない適切な指導方法」や「自分の感情を適切にコントロールする力」を身に付けられるよう取り組んでいる。また、管理職による適切な指導・監督を徹底し、教職員同士が課題を共有し、互いに指摘できる組織づくりを進めるなど、体罰や不適切な指導等の根絶に努めていく。



長谷川　真弓（公明党）

1　アピアランスケアの充実について
2　未来の有権者を育てる取組について

■アピアランスケア[注2]の充実について

問小児がんや先天性疾患、脱毛症など外見の変化に悩む子どもたちへのアピアランスケア支援を今後どのようにしていくのか、市の見解を伺う。

答がんの治療に伴う外見の変化に悩む子どもたちが安心して学び、社会参加できるよう、引き続き支援を行うとともに、がん患者以外への助成を実施している他自治体の情報収集に努めていく。

■未来の有権者を育てる取組について

問「未来の有権者を育てる」という視点から、子どもたちが選挙や投票を体験できる青梅市らしい選挙啓発を検討していく考えはあるのか伺う。

答市で実施している「選挙出前授業」は、模擬投票に加え、投票の結果について考察等を行うなど、若者の投票意識の向上に寄与している事業であると捉えている。まずは、この「選挙出前授業」について、高等学校のみならず、市内の小・中学校を中心に、多くの子どもたちがこのような経験ができるよう取り組む。その中で得た子どもたちの関心や興味などを踏まえ、青梅市に見合った啓発活動の推進に努めていく。





中野　芳則（自民クラブ）

1　東青梅駅について
2　新図書館について
　―貸出サービスの継続へ向けて―
3　子どもの居場所づくりについて
　―大型児童センターの機能分散整備へ向けて―

■東青梅駅について

問東青梅駅建て替えと同時に、東青梅１丁目地内諸事業用地等整備基本計画を見据えた周辺整備も必要になると考えるが、市の考えを伺う。

答駅の南口は、東青梅1丁目地内諸事業用地の施設利用者による往来の増加が見込まれることなどから、安全な歩行者導線の確保や路線バスなどが乗り入れしやすい環境の整備が必要と考えている。また、ロータリーの機能を充実させるほか、周辺の賑わいを創出する空間など、駅前広場に必要な機能について整理を行うとともに、駅舎や自由通路と連携して全体が最適化されるようなレイアウト案の検討を進めていく。

■新図書館について

問貸し出しサービスを継続する必要があると考えるが、市の見解を伺う。

答新青梅図書館は、既存の図書館とは異なったコンセプトにより世代や地域の属性を問わず、誰もが交流し心地良く滞在できる居場所を目指している。新たなチャレンジとして現在検討を重ねている内容で運営をしていきたいと考えているが、オープン後には必要により運営内容の改善を図り、より良い図書館となるよう努める。





阿部　悦博（自民クラブ）

1　カスタマーハラスメントに対する市の考え方について
2　青梅市の人口動向に応じた施策について

■カスタマーハラスメントに対する市の考え方について

問令和８年度実施予定の「庁舎電話設備更新業務委託」の内容について、通話録音機能等は考慮しているか伺う。

答本業務委託については、市庁舎における「電話交換設備の老朽化に伴う更新」のほか、新たに「通話内容の録音機能」と「発信者が直接担当部署を選択できる機能」の導入を予定している。

■青梅市の人口動向に応じた施策について

問総合長期計画の見直しの際、人口動向については、現実に基づいた修正をしたほうが議論を深められると考えるが、見解を伺う。

答今回の総合長期計画の改定にあたり、推計値と実績値とのかい離やその背景を丁寧に検証したうえで、最新データによる人口推計の見直しを行うことが、計画の実効性を高める上で必要不可欠と認識している。人口推計の見直しは、各個別計画や各施策の方向性にも多大な影響を及ぼすものであるため、丁寧かつ実態に即した検討を進めていく。



湖城　宣子（公明党）

1　終活情報登録事業の導入を
2　青梅市への遺贈寄付・相続寄付について
3　ピースメッセンジャー事業の
　沖縄派遣導入について

■終活情報登録事業の導入を

問終活情報登録事業[注3]の導入をしてほしいがいかがか。

答高齢化の進展や、ひとり暮らし高齢者世帯が増加する中、御本人の意思の尊重という観点から、終活情報を登録する事業の意義については理解をしている。先進自治体では、制度の周知方法などに課題もあると聞いており、引き続き情報を収集し、研究していく。

■ピースメッセンジャー事業の沖縄派遣導入について

問ピースメッセンジャーの派遣先に沖縄を加えることはできないか伺う。

答沖縄は、太平洋戦争末期に住民を巻き込んだ激しい地上戦が行われ、多くの尊い命が失われた地域である。戦争の悲惨さや平和の大切さを考える上で、意義のあることと認識している。しかしながら、本事業は羽村市と共同で実施していることから、派遣先については事業の目的や学習内容、現地での受入れ体制、行程、費用等を総合的に勘案している。今後の派遣先については、これらを踏まえ、両市で協議の上、決定する必要があると考えている。





茂木　亮輔（日本維新の会）

1　今井３丁目周辺における水害対策について
2　地域コミュニティにおける
　人財の育成と確保に向けた取組について
　―学生の地域活動認証制度の創設を―
3　青梅市交通公園跡地の整備計画の
　進捗状況について

■今井３丁目周辺における水害対策について

問今井３丁目周辺の排水能力のさらなる改善について、現在の施設をどのように捉え、今後どのような対策を検討していくのか伺う。

答近年の降雨状況の変化等もあり、現状の施設では対応が厳しい状況である。こうした状況を踏まえ、排水能力の改善に向けて現状の施設を改めて検証し、当面の対応策を含め検討していきたいと考える。

■地域コミュニティにおける人財の育成と確保に向けた取組について

問自治会等の地域活動に従事する学生を増やし、将来的な地域の担い手を発掘・育成していくための取り組みとして、今回提案する学生の地域活動認証制度の導入について、市長の見解を伺う。

答学生が地域社会と関わることは、地域の現状や課題を肌で感じ、主体的に行動する力を養い、地域貢献への動機付けやシビックプライド[注4]の醸成に寄与するものと考えている。先進自治体の事例や課題を調査・把握し、本市の実情に即した制度のあり方を研究するとともに、近隣の自治体でも導入が進んでいる「消防団活動認証制度」については、導入の検討を進めていく。





山田　紀之（やまだ　のりゆき）（自民クラブ）

1　青梅市消防団について

■青梅市消防団について



問消防団員について、今の時代にあった大胆な処遇改善が必要と考えるがいかがか。また、現在、消防団員が足りていない状況で、市民の安全安心を守ることは困難と考える。持続可能な消防団の維持について、市はどう考えているのか伺う。

答消防団員に対するさらなる処遇改善については、現団員はもとより新入団員確保のためにも、進めていく必要があると考えている。出動報酬と活動報償金、年額報酬などの見直しの他、全国ではさまざまな消防団員の活動を応援するための優遇措置が行われているため、さらなる情報収集を行い、研究していく。持続可能な消防団への取り組みについては、現在、消防団で女性団員や外国人団員も含めた新入団員の確保に取り組みつつ、実情に合った組織の再編、車両配置、装備の更新、処遇改善等について協議を進めている。今後も市民の安全・安心につながる持続可能な消防団組織について、団員や地域の方々のご意見をいただきながら、消防団とともに取り組んでいく。



山﨑　哲男（やまざき　てつお）（自民クラブ）

1　自転車の交通安全対策について

■自転車の交通安全対策について

問今後の自転車の交通安全対策をどのように進めていくのか、市長の考えを伺う。

答市では「青梅市交通安全計画」を策定し、自転車も含めた交通安全対策に取り組んでいる。

今年度末で現計画が終期を迎えることから、現在、新たな計画の策定に着手しており、その中で、今後の自転車の交通安全対策についても交通安全対策審議会と協議しながら検討を進めている。

先日開催した交通安全対策審議会では、自転車専用通行帯のさらなる整備の必要性などについて、ご意見をいただいている。これからも交通事故死ゼロを目指して、関係機関と連携し、市民の皆様のご協力も得ながら、交通事故のない安全で安心に暮らせる社会の実現に向けて尽力していく。





久保　富弘（くぼ　とみひろ）（自民クラブ）

1　学校法人日本航空学園について
2　収益事業について
　—今後のBOAT RACE多摩川について—
3　自治会への加入促進・退会防止対策について

■学校法人日本航空学園について



問日本航空学園が明星学苑から明星大学青梅キャンパスの施設等の譲渡を受けたが、市として日本航空学園に対して今後どのような支援を行っていくのか、市長の思いを伺う。

答日本航空学園をまちづくりにおける重要なパートナーとして、青梅での学びを末永く継続していただけるよう、できる限りの支援を行う考えである。学園の皆様が安心して教育活動を続けられる環境を整えることは、市としても重要と考えており、実現に向け取り組んでいく。

■自治会への加入促進・退会防止対策について

問高齢者の退会防止や若年層の加入促進を進めるため、こうした世代に対して自治会費の免除や減額を行う、財政的な支援を実施することについて、市長の見解を伺う。

答高齢者や若い年代の世帯を対象とする支援策については、自治会の持続可能性を高め、また地域の活性化を図る上で有益な手法の一つであると捉えている。今後は先行自治体の事例の調査を行い、引き続き自治会連合会とともに、市に見合った施策を検討していく。



山﨑　善信（やまざき　よしのぶ）（市民フォーラム青梅・都民ファーストの会）

1　避難場所、避難所などにおける防災対策や災害への対応について
2　熱中症対策とゼロカーボンシティ実現に向けて、マイボトル対応型給水機の活用を
3　青梅市郷土博物館の再開と文化課における体制強化について

■熱中症対策とゼロカーボンシティ実現に向けて、マイボトル対応型給水機の活用を

問公共施設等へのマイボトル対応型給水機の設置を総合的に検討すべきと考えるが、市の見解を伺う。

答マイボトル対応型給水機の活用は、猛暑時における水分補給の機会を広げる側面と、環境負荷低減の側面をあわせ持つ取り組みの一つと捉えており、市の温暖化対策とも合致する。今後、他自治体における導入事例やその効果、運用方法なども参考に、民間事業者との連携手法も含め、情報収集していく。

■青梅市郷土博物館の再開と文化課における体制強化について



問移転に向けた人員補強や文化課の体制強化を行うべきと考えるが、見解を伺う。

答人員補強や体制強化は、今後の状況を精査のうえ、必要に応じて部局と協議していく。郷土博物館の再開を待ち望む市民の声に応えるためにも、移転を含め早期の再開に向け取り組んでいく。



井上　たかし（いのうえ）（日本共産党青梅市議団）

1　高齢者センターや児童館の早期設置を
　—福祉センターの廃止を踏まえて—
2　西多摩地域の火葬場の連携について
3　緊急着陸を繰り返すオスプレイへの抗議を

■高齢者センターや児童館の早期設置を

問高齢者や子どもの居場所づくりにおいて、都立誠明学園敷地の活用はとても重要であると考えるが、現在の東京都との交渉の状況について伺う。

答東京都とは、適宜協議を行っており、令和６年度に１回、７年度に１回、本年度はこれまでに２回協議を行った。覚書に基づき、協議を行っているが、高齢者や子どもの居場所などを含む具体的な施設の内容についての協議には至っていない。

■西多摩地域の火葬場の連携について

問棺の大きさの制限により、青梅市で火葬できない場合は、火葬費用を補助するべきと考えるが、市の考えを伺う。



答棺の形状により、市火葬場では対応ができず、市外の火葬場を利用した場合の費用負担については、現在のところ考えていないが、他自治体の状況など、情報収集をしていく。



片谷　洋夫（かたや　ひろお）（市民フォーラム青梅・都民ファーストの会）

1　多摩川のバーベキューごみの不法投棄対策のさらなる強化を
2　カヌー、ラフティングなどのリバーアクティビティによる地域の活性化と諸課題について
3　子どもたちの目を守る取組について

■多摩川のバーベキューごみの不法投棄対策のさらなる強化を

問毎年起きているごみ不法投棄問題に対し、早急に有料化を含む一歩進んだ対策が必要と思うが、市長の見解を伺う。



答今後は、今年度の対策の取り組みを踏まえ、国土交通省京浜河川事務所をはじめとする関係機関との協議を進めるとともに、庁内における検討を一層進めていく。河川敷の一部占用による有料化も有力な一つの選択肢として検討を深めていく。

■カヌー、ラフティングなどのリバーアクティビティによる地域の活性化と諸課題について

問ルールを守らずに営利活動を行っているラフティング事業者が野放し状態である。このことを市はどう考えているのか。

答東京都において、青梅市および奥多摩町を流れる多摩川上流域を対象とする協議会が設置されており、水面利用協定が締結された。市としても、こうした協定にもとづき、地域環境への適切な配慮等が図られるよう、引き続き積極的に関わっていきたいと考えている。



藤野（ふじの）　ひろえ　（日本共産党青梅市議団）

1　感震ブレーカーの設置促進に向けた補助・支援を
2　子どもの健康を守るために、
　学校健診と健診後の治療等について問う

■感震ブレーカーの設置促進に向けた補助・支援を

問感震ブレーカーの設置を促進するため、市民に向けた周知をすべきと考えるがいかがか。

答感震ブレーカーの設置について、通電火災防止の有効性とともに、設置に伴うデメリットについて市民の理解を深めていただくことが肝要である。今後、広報等による啓発について研究していく。

■子どもの健康を守るために、学校健診と健診後の治療等について問う

問治療や観察が必要な児童・生徒について、どのように対応しているのか伺う。

答各種健康診断の結果、精密検査や治療が必要と診断された児童・生徒の保護者には、健診結果を在籍校からお知らせし、治療などを促している。また、児童・生徒が学校生活で配慮すべき内容がある場合は、担任や養護教諭が保護者と連絡を取り、治療状況等を把握し、安心して学校生活が送れるよう対応している。





みねざき　拓実（たくみ）　（日本共産党青梅市議団）

1　都市計画道路の整備よりも水害対策を
2　健康寿命日本一のまちに向けた取組について

■都市計画道路の整備よりも水害対策を



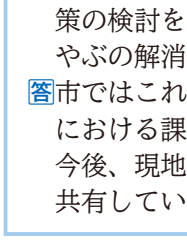
問水害などの災害に強い強じんなまちを作るため、市内全体でどういうインフラ整備が必要か優先順位をつけて、その中に都市計画道路も位置付けていくことが必要だと思うが、市の見解を伺う。

答都市計画道路などのインフラ整備は、機能的な都市活動や安全で快適な都市生活の確保に向け、状況を踏まえて優先順位を定め、取り組むものと認識している。引き続き地域の災害時の避難路、安全性向上に寄与する路線として、災害に強いまちづくりを推進していく。

■健康寿命日本一のまちに向けた取組について

問認知症に対する市民の理解を深めることが必要である。理解が深まれば、自ら進んで軽度認知障害（ＭＣＩ[注5]）の検査を受ける人が増えて、結果として健康寿命日本一のまちに近づくのではないか。

答今年度から、軽度認知障害（ＭＣＩ）リスク早期発見事業を開始した。従来から認知症に対する正しい知識の普及啓発にも取り組んでおり、その継続が受診者や介護予防教室参加者の増加を促し、さらなる理解の促進につながると考えている。



鴻井（こうい）　伸二（しんじ）　（公明党）

1　豪雨等の防災対策の強化を
2　営農型太陽光発電の適正な推進について
3　ｅスポーツ英単語バトル大会を青梅でも
4　マイタク事業の拡充を

■豪雨等の防災対策の強化を

問断水時の生活用水確保のために、防災井戸制度を創設し、活用してはどうか。

答現在、市内の井戸の位置情報を青梅市地図情報システムへ入力し、避難所の近くにある井戸について、その活用などの検討を進めている。防災井戸制度の創設については、今後、井戸の活用を開始する際に、他市の制度を参考にしながら検討していく。

■マイタク事業の拡充を

問本人が直接登録に行けない場合には、家族の代理申請について検討してほしいが、検討状況を伺う。

答現状の手続きは、本人にマイナンバーカードをお持ちいただき、その場でマイナンバーカードの暗証番号を入力いただくことで、登録が完了する。マイナンバーカードや暗証番号は、非常に重要な情報であるので、法令を遵守し、その取扱いには十分留意しながら、代理人による申請手続きの実現に向けて、取り組んでいく。





ぬのや　和代（かずよ）　（立憲民主党）

1　令和８年５月２３日に発覚した、二ツ塚処分場内のエコセメント化施設のキルンの部品脱落について
2　令和８年６月３日の台風第６号による断水予告について
3　ゼロカーボンシティ計画について
　―フレキシブルソーラー、プラグインソーラー、データセンター―
4　予約乗合バス(デマンド交通)の実証実験を始めよう！

■令和８年６月３日の台風第６号による断水予告について

問誰でも情報が得られるよう、断水予告等に行政防災無線を活用できなかったのか。

答当日は断水などの影響に備え、東京都水道局と連絡をとりながら防災行政無線の放送の準備をしていたが、断水が回避されたため、放送を行わなかった。今後も防災行政無線については、東京都と連携をとりながら、適切に運用していく。

■予約乗合バス（デマンド交通）の実証実験を始めよう！

問あきる野市ではＡＩを使った予約乗合バスの実証実験を行い、徐々に範囲を広げ、公共交通空白地域の改善に取り組んできた。青梅市でも一刻も早く、実証実験を始めるべきではないか。



答市では「地域公共交通計画」に基づき各施策を推進している。計画では既存の公共交通を補完するデマンド型交通も検討することとしており、交通事業者を含めた関係機関と協議を進めている。



野島（のじま）　資雄（としお）　（公明党）

1　市内保育所等の今後について
2　女性活躍社会の推進について
3　多摩川を中心とした
　「荒れた河川環境」の改善について

■女性活躍社会の推進について



問元職員のカムバック採用について、導入の検討を早急にお願いしたいが、市長の判断を伺う。

答人口減少が加速している中、将来的な行政運営の担い手となる人財の確保は喫緊の課題であり、従来の採用方法に留まらず、多様な視点からの人財確保策を検討する必要がある。その一環として、結婚・出産・育児・介護などさまざまな事情により退職した元職員を対象とする採用試験の実施について、前向きに検討していく。

■多摩川を中心とした「荒れた河川環境」の改善について

問河川敷の荒れた環境について、河川管理者の国や都と具体的な対応策の検討を至急始めるか、あるいは青梅市独自でポイントを絞り、やぶの解消に向け動き出すのか、市長の考えを伺う。

答市ではこれまでも、ごみの不法投棄や危険木への対応など、河川敷における課題に対し、河川管理者と協議し、対応につなげてきた。今後、現地を確認するとともに、河川管理者である国や都と課題を共有していく。

議員提出議案

付帯決議が可決となりました！

※付帯決議とは、可決された条例などの議案に対し、その事業や制度を実施するにあたって、「市に対して要望や注意してほしい事項」を添えて、対外的に表明するために議会の意思を決定することです。

受益者負担および公費負担の適正化を図るため、市民センターやスポーツ施設等の使用料の見直しを行うこと等を定めた条例案（議案第５０号、議案第５１号）が審議され、賛成多数で可決となりました。その後、議員より可決となった条例に対する付帯決議が提出され、採決の結果、賛成多数で可決となりました。

【付帯決議の要旨】

公共施設の維持管理に要する経費を踏まえ、持続可能な施設運営のために受益者負担と公費負担の適正化を図る必要性は理解するところである。一方、市民センターおよびスポーツ施設等の公共施設は、地域コミュニティの形成に資するものであり、また、文化活動やスポーツ振興を支える重要な役割を担っている。今回の使用料改定が市民の使用を抑制することとなれば、公共施設の本来の役割を損なうことにもなりかねない。よって、本条例施行にあたり、次の事項について十分配慮し適切な措置を講ずるよう求める。

①使用料改定後の利用状況等の検証②市民活動等への十分な配慮③減額･免除制度等の検証④使用料改定後の影響の検証および議会への報告

議案の議決結果

9月定例議会

◆全会一致で可決、認定、同意となった議案◆

議案番号	議案件名
37	令和7年度青梅市一般会計歳入歳出決算
41	令和7年度青梅市下水道事業決算
43	令和7年度青梅市病院事業決算
44	令和8年度青梅市一般会計補正予算（第5号）
47	令和8年度青梅市介護保険特別会計補正予算（第1号）
49	青梅市情報公開条例の一部を改正する条例
52	青梅市家庭的保育事業等の設備および運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例
53	地方自治法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例
54	青梅市立学校給食センター条例の一部を改正する条例
55	青梅市新学校給食センター（仮称）新築工事にかかる契約の変更について
56	青梅市新学校給食センター（仮称）新築電気設備工事にかかる契約の変更について
57	青梅市新学校給食センター（仮称）新築機械設備工事にかかる契約の変更について
58～60	物品の買入れについて
61	和解について
62～63	市道路線の廃止について
64～65	市道路線の一部廃止について
66～68	市道路線の認定について
69	青梅市表彰条例にもとづく表彰の執行について
70	青梅市教育委員会委員の任命について
71	損害賠償額の決定について
委員会2	青梅市議会会議規則の一部を改正する規則

◆賛否が分かれた議案◆

［○…賛成 ×…反対 欠…欠席］

議案番号	議案件名	議決結果	1 中野芳則 自民	2 山田紀之 自民	3 寺島和成 自民	4 茂木亮輔 維新	5 井上たかし 共産	6 ぬのや和代 立憲	7 みねざき拓実 共産	8 藤野ひろえ 共産	9 目黒えり 市都	10 山崎善信 市都	11 片谷洋夫 市都	12 長谷川真弓 公明	13 山崎哲男 自民	14 阿部悦博 自民	15 迫田晃樹 自民	16 山田敏夫 自民	17 島崎実 自民	18 山崎勝 自民	19 鴨居たかやす 自民	20 久保富弘 自民	21 湖城宣子 公明	22 山内公美子 公明	23 鴻井伸二 公明	24 野島資雄 公明	賛成	反対
38	令和7年度青梅市国民健康保険特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠	○	○	○	○	○	19	3
39	令和7年度青梅市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○		欠	○	○	○	○	○	19	3
40	令和7年度青梅市介護保険特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○		欠	○	○	○	○	○	19	3
42	令和7年度青梅市モーターボート競走事業未処分利益剰余金の処分および決算	可決認定	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○		欠	○	○	○	○	○	19	3
45	令和8年度青梅市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	19	4
46	令和8年度青梅市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	19	4
50	青梅市市民センター条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○		欠	○	○	○	○	○	19	3
51	青梅市文化交流センター条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○		欠	○	○	○	○	○	19	3
議員1	議案第50号「青梅市市民センター条例等の一部を改正する条例」及び議案第51号「青梅市文化交流センター条例等の一部を改正する条例」に対する付帯決議	可決	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○		欠	○	○	○	○	○	19	3

陳情の議決結果

9月定例議会

◆審議された陳情◆

［○…採択 △…趣旨採択 ×…不採択 欠…欠席］

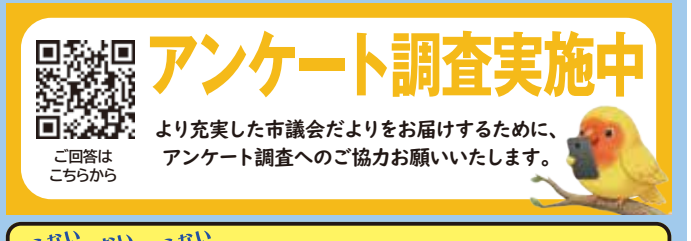
陳情番号	陳情件名	議決結果	1 中野芳則 自民	2 山田紀之 自民	3 寺島和成 自民	4 茂木亮輔 維新	5 井上たかし 共産	6 ぬのや和代 立憲	7 みねざき拓実 共産	8 藤野ひろえ 共産	9 目黒えり 市都	10 山崎善信 市都	11 片谷洋夫 市都	12 長谷川真弓 公明	13 山崎哲男 自民	14 阿部悦博 自民	15 迫田晃樹 自民	16 山田敏夫 自民	17 島崎実 自民	18 山崎勝 自民	19 鴨居たかやす 自民	20 久保富弘 自民	21 湖城宣子 公明	22 山内公美子 公明	23 鴻井伸二 公明	24 野島資雄 公明	採択	趣旨採択	不採択
陳情 8-12	石綿曝露防止体制強化を求める陳情	趣旨採択	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	議長	欠	△	△	△	△	△	0	22	0
陳情 8-13	憲法 99 条に定める憲法尊重擁護義務の厳守を国に求める意見書の提出を求める陳情	不採択	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×		欠	×	×	×	×	×	4	0	18
陳情 8-14	青梅市住宅課の不作為に関する陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		欠	×	×	×	×	×	0	0	22

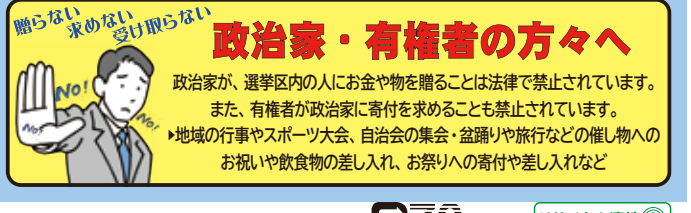
12月定例議会の会議予定

日	月	火	水	木	金	土
29	30	12/1	2 本会議	3 本会議	4 本会議	5
6	7 常任委員会	8	9 常任委員会	10 予算決算委員会 全員協議会	11	12
13	14	15	16 本会議	17	18	19
20	21	22	23	24	25	

会議予定は、変更になる場合がありますので、お問い合わせいただくか、青梅市議会ホームページでご確認ください。

青梅市議会ホームページ
https://www.city.ome.tokyo.jp/site/gikai/





発行 青梅市議会 ☎0428-22-1111

R70 古紙パルプ配合率70%再生紙を使用 石油系溶剤を含まないインキを使用
リサイクル適性Ⓐ この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。